

第5巻 | 2023年3月

文責：出水結花

ボツワナだより



私がボツワナで達成したいこと

日本の外へ出ると、いかに世界でポイ捨てがひどいかに驚きます。私の経験から、国が発展しているとか裕福であるとかとはあまり関係なく、多くの国で公共の場が汚れています。また、人々の意識の低さから家庭での分別が出来ていない国もたくさんあります。日本人のポイ捨てをしない文化や分別ルールをきちんと守る習慣は世界に誇れるものであり、この分野での日本の国際協力も広がりを見せています。

赴任から半年が過ぎ、調査の期間も終わり、派遣期間中にどんなことに取り組むかを示した「活動計画」を決定しました。

- ① ポイ捨て防止の啓発活動（公衆衛生の改善）
- ② 分別回収の開始（環境負荷の低減）
- ③ 生ごみコンポストによる有機栽培促進（廃棄物の減量化）

廃棄物処理には発達段階があります。まず自分たちの居住地を衛生的に保つためゴミを決まった場所に捨てる必要があります（公衆衛生の改善）。その後、集めたゴミを適切に処理し、環境汚染を招かないようにしなければなりません（環境負荷の低減）。そしてゴミの量を減らすために3R(Reduce・Reuse・Recycle)を実践します（廃棄物の減量化）。最後に、製品がゴミになる前の生産や消費を環境にやさしいものに代える（循環型社会の実現）、というように移行していきます。つまりポイ捨てをしている国に突然「リサイクルしましょう」と言っても難しいのです。焦らず、Step by Stepで取り組んでいきます。

ボツワナでは理科の先生！？



◀小学4～6年生の理科の教科書：

実はボツワナの小学生は、ゴミについてや環境問題については理科の時間に学びます。小学生の理科の教科書を読み込み、できる限り教科書の内容に触れながら授業をしています。日本では専ら文系の私でしたが、憧れの「リケジョ」デビューです！

▲埋め立て地：

これは私の任地にある埋め立て地で、この景色がどこまでも続きます（30ヘクタール）。全ての家庭ゴミがそのまま運ばれてくるのですが、その背景として、家庭での分別が難しいこと、分別回収できたとしても日本のような高機能な焼却施設がないことがあります。当然、自然分解が追いつかず、埋め立てる土地が足りなくなっているのも問題です。



▲埋め立て地に捨てられたゴミ：

生ゴミ、紙、プラスチックの他に、ガラス瓶、モップや椅子などの金属、電気製品など様々なものが捨てられていることが分かります。

お金になる物を拾いに来る人も居ますが、悪臭、有害物質や細菌も発生していて、とても好ましい環境ではありません。電池などが発火して火事になり何日も燃え続けることもあります。

SEMAUSU ~ボツワナの露店~

屋外で物売る露店の総称を、現地語で「セマウス」と言い、たくさんの種類があり面白いので紹介します。毎日通る場所では、買い物をしなくても世間話をし、現地の人とのコミュニケーションの場になっています。

【No. 1】駄菓子やジュース



お菓子は調達も簡単であまり管理が要らないため、最もよく見かけます。飴1つ5円、手のひらサイズのスナック菓子1袋50円などで売られていて、学校帰りの子どもがよく「買い食い」しています。

【No. 2】野菜や果物



スーパーより安く新鮮な野菜や果物が手に入ります。初めて見る野菜があると「これ何？どう料理するの？」と聞いて買います。右の写真の女性は頭にタライのようなものを載せ、リンゴやバナナを移動販売しています。私がよく買うのはマンゴーです。ボツワナは日差しが強いからか、果物が



とっても甘くて美味しいです！日本なら2,000円はしそうな拳2個分サイズのマンゴーが110円！

【No. 3】ジャンクフード



塩味の焼きとうもろこし、巨大ホットドッグ、ドーナツなど、すぐに食べられるジャンクフードもあります。



フライドポテトは、切ったばかりのジャガイモをその場で揚げます！そのままでも十分美味しいのに、ボツワナ人はスパイスと酢とケチャップでひたひたにして食べます。

【No. 4】屋台に本格ピザ窯！



なんと中にピザ窯があり、修行したシェフがパリパリのピザを焼いています！外に客席もあり、空を見上げながら食べるピザは格別です！

【No. 5】美容院まで！



セマウスでは普通的美容院よりも安く髪を切ってもらえるそうです。私は行ったことはありませんが、他の隊員が挑戦していました。

現地の人々との交流も活発に

—ボツワナ人のbraai(BBQ)—



braai(ブライ)は現地語でBBQという意味で、真夏のシーズンにあちこちで行われています。野外で安く美味しいボツワナの肉を食べながらお喋りします。初めてこのbraaiに誘われた時、費用は要らないと言われたので、「焼肉にはキムチだろう！」と思って、自分で漬けたキムチを持って行ったのですが、辛すぎて口に合わなかったようです。暑かった夏も、もうすぐ終わりに近づいています。

—ソフトボールアフリカ予選—

2月にソフトボールワールドカップのアフリカ予選がありました。出場国はケニア、レソト、南アフリカ、ボツワナの4カ国で、南アフリカとボツワナが世界大会に進むことになりました！なぜ観戦したかという点、JICA海外協力隊員の女性がボツワナ代表のアシスタントコーチをされているからです。世界大会には日本代表も出場するのではないかと思います。両国の健闘を祈ります！



—巻き寿司の反応は—



職場で巻き寿司を振る舞いました。巻き寿司と言っても、鶏肉のそぼろ、炒り卵、キュウリなど現地で手に入る材料を具材にし、酢飯はウケないだろうと思ったのでご飯は味付け無しにしました。「美味しい」と食べてくれました！新しい物に臆病なボツワナ人ですが、受け入れてもらえて嬉しそうです。次はうどんに挑戦したいと思います！